

世代別・職業別タウンミーティング（松山東高等学校）（要約）

テーマ：高校生の視点で松山市を考える

平成29年2月14日（火曜日）

【市長】 皆さんこんにちは。松山市長の野志克仁です。私が市長に就任させていただいてから、松山市版のタウンミーティングを始めました。最初は地域別のタウンミーティングを始めました。松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町を合わせて41地区あります。市役所で皆さんが来られるのを待っているほうが楽ですが、果たしてそれでいいのでしょうか。私たちのほうから各地区に出向いて行って、市民の皆さんの声を聞かせてもらおうとタウンミーティングを始めました。1期目は41地区を2巡りし、2期目は地域別のタウンミーティングに加えて世代別のタウンミーティングとあって、大学生や専門学校生、おじいちゃんおばあちゃん、子育て世代に集まっていただくタウンミーティングをしています。また、職業別のタウンミーティングもしていきまして、農業の方々や商店街の方々に集まっていただくタウンミーティングもしています。今日が100回目のタウンミーティングになりました。今日は高校生に集まっていただいて、各クラスで話をさせていただいて、9組の代表の方に発表していただくことになっていますけれども、このタウンミーティングの開催にあたりましては、松山東高校の校長先生をはじめ、教職員の皆さま方にご協力いただきました。本当にありがとうございます。それでは早速、松山東高等学校さんのタウンミーティングを始めさせていただきたいと思います。いつもは90分間台本なしでやっていますが、高校の授業の中でやるというのは初めてのケースで、どのようになるかなと思っていますけれども今日はどうぞよろしくお願ひします。では、早速1組さんからお願ひします。

【男子生徒（1組）】 私は、時々大街道・銀天街周辺に行きますが、いつも自転車を停めにくい印象を受けます。そこで大街道・銀天街とその付近の駐輪場を調べてみましたが、自分が知らないだけで意外と駐輪場はありました。クラスの何人かにそれを話したところ、みんなその駐輪場の存在を知りませんでした。私の考察では、大街道・銀天街周辺には、ある程度の駐輪場はあるけれど、あまり知られていないのだと思います。そこで、大街道周辺に駐輪場の場所をわかりやすく載せた掲示板などを設置すればよいと思います。さらに、各駐輪場の空き具合などもそこに掲示できれば、なおよいと思います。また、それらをまとめたアプリケーションなど

をつくるのも効果的なのではないかと思います。

【市長】 今の質問を受けて、松山市ではどのように駐輪場のことを知らせているかという、駐輪場の場所を掲載した看板を6カ所設置しています。また、駐輪場マップを作製して市内のすべての中学校や高校や大学にお配りしています。また、市のホームページや広報紙などでも周知を行っていますが、今の話からするとあまり知られていないと思いました。自転車のマナーを守ってみんなが安全に登校してほしいと思っていますので、交通安全教室を開催しています。これは学校の先生方ともお話をしなければなりません、来年度に松山東高校さんで駐輪場を紹介したり駐輪場の利用を周知したりというような交通安全教室を先生方と連携してできればと思っています。そしてアプリケーションの回答は現場でやっています都市・交通計画課長にお願いします。

【都市・交通計画課長】 皆さんこんにちは。都市・交通計画課長の石井です。よろしく申し上げます。現在、大街道・銀天街周辺の駐輪場は10カ所あります。そのうち市営で運営しているのは1カ所だけになります。残りは全部民間さんのものです。事業者が異なり、ほとんど無人のところが多く、今何台空いているかが即時にわからないので、今後、駐輪施設を更新するとき新しいシステムができるとか、アプリまでは無理かもしれませんが、民間の駐輪場の経営者さんと話して、できる限り皆さんがわかるような、ここが空いているという周知をしていきたいと思っています。ちなみに現在は平日、休日ともに全部が満車になっていることはない、まちなに行かれたらどこかに停められるのではないかなと思いますのでよろしく申し上げます。

【市長】 松山市の大街道・銀天街の駐輪のことは経緯があって、大街道や銀天街の中を自転車で走れたらなと思う人がいるかもしれませんが、商店街はお父さんやお母さんに手を引かれた小さなお子さんや、おじいちゃんおばあちゃんも買い物に来る場所です。滑りやすい大街道、銀天街を自転車で通ってしまうと、そういう人たちに対して危険だということもあります。ですので、大街道・銀天街は自転車で走らないようにお願いしています。また、かつては特に夜は大街道や銀天街にたくさん駐輪がされていましたが、あそこは生活している人もいますよね。そういう方々の体調が悪くなって救急車を利用するようなこともあります、救急車が入れないようなところではいけませんよね。そういうことでルールをつくって駐輪場をつくっています。今、ほとんどの駐輪場で空きがあることになっていますが、アプリケーションをつくらうと思うと、今何台空いているか知らせないといけないハードルがあるのをわかっていたらと思います。

でも、調べていただいたのは、まず偉いと思います。

【女子生徒（2組）】 松山市の子育てについて意見を述べさせていただこうと思います。私たちはまだ高校1年生ですが、将来のことについて少しずつ考え始めています。また、松山東高校の生徒の多くは県外の大学などに進学し、その後、私たちが生まれ育った松山に帰って来たいと考えている人も多いと思います。しかし、近年少子化の影響から年少人口が減少していて、将来的に子育て支援にも影響が出るのではと不安です。子育てには多くのお金がかかります。そこで、公立の幼稚園を増やしたり、医療費助成制度の対象を中学校卒業までに延長することで、少しでも子育てにかかる費用を軽減してもらうことができれば、その不安も少なくなるのではないかと思います。松山市の隣にある砥部町や松前町は総数に対して公立幼稚園の割合が高く、医療費も中学校卒業まで助成されています。松山市内の会社に就職するとすれば、通勤可能範囲にある砥部や松前に住む人が増えるのではないかと思います。私たちの将来、松山市の将来のためにも、今以上に子育て支援を充実させていただきたいです。

【市長】 2組さんありがとうございます。パワーポイントを見てもらいましょう。これは松山市の医療費の実態です。私は平成22年11月から市長をさせていただいていますけれども、もともとは平成26年度までは0歳から6歳までの小学校に入るまでの通院は無料、そして入院は小学校3年生まで無料でした。それを県から補助を拡大してもらって、平成27年度からは入院費が中学校3年生まで無料になっています。入院と通院の2部門あることがわかっていただけたと思います。先ほど調べていたのも偉いなと思いました。砥部町や松前町は中学3年生まで無料で、なぜ松山市はできていないかですけれども、松山市は中核市で人口が50万人を超えています。松前町さんや砥部町さんは保健所がないですけれども、松山市は中核市なので保健所があるんです。つまり、愛媛県さんから、松山市は中核市ですから自分たちでできるだけやっってくださいと言われていきます。その分、補助金も削られているんですね。ですから、もし松山市で中学校3年生まで入院も通院も無料にしようとする、年間7億円要ります。これが私にとって非常に悩ましいところで、1回やり出すとうまくいかなかったから来年やめますというのができません。つまり1回やり出すと毎年7億円のお金が要るということは、決まったお財布の中でやっている、どこかで7億円絞らないといけなくなるんです。ひとり親家庭の医療費助成は、母子家庭から父子家庭まで対象にして拡大してきましたし、中学3年生まで入院医療費無料も拡大してきて、私としてもできるだけ拡大

をしていきたいと思っておりますので、ちょっと今しばらく待っていただいたら、財源を確保していきたいなと思っております。次に幼稚園、保育園のことに
ついてお願いします。

【保健福祉部副部長】 保健福祉部の野本と申します。幼稚園ですが、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」によって、松山市では平成30年度には公立と私立の幼稚園の保育料は同一になる予定です。一方、待機児童ということをよく耳にしたいと思います。働きたくて子どもを預けたいけれど預けられない、そういったお子さんは0歳から1歳、2歳のところが非常に多い状態です。そこで松山市では、そういった方を保育園や認定こども園、また小規模保育事業施設などで受け入れる体制の拡充に取り組んでいます。そのことによって子育て支援に力を入れていますので、よろしく申し上げます。

【市長】 時間の関係で次にいかないといけないので申し訳ないですけど、3組さんお願いします。

【男子生徒（3組）】 私は、エコ通勤を推進するために、平日朝夕の電車とバスの運賃を安くし、本数を多くしてもらうことを提言します。それでは、まず、東高1年生の皆さんに1つ聞いてみたいと思っております。毎朝東高に来るまでに、自転車か徒歩以外の方法で学校に来ている人は手を挙げてもらっていいですか。（挙手）ありがとうございました。今、見ていただいたとおり、たくさんの方が自転車や徒歩以外の車や公共交通機関などを使って、東高まで登校していることがわかります。それでは、先ほどの提言について、提言をした理由を2点申し上げます。1点目は、通勤・通学の際の電車・バスの運賃が高く、本数も少ないことが多いため、自動車で移動せざるを得ないという状況が多いことです。私の友人にも、電車やバスは不便だから車で移動するという人がいます。そのことにより、市内の交通渋滞や事故が多くなるとも考えられますので、この事態を改善すべきだと思い1つ目の理由とさせていただきます。2点目の理由としては、環境への影響です。車での移動により、排気ガスなどによる地球温暖化への影響が深刻化することが考えられます。また、エコ通勤により市内も排気ガスなどによる汚染がなく、さらに快適に住みやすいまちづくりに貢献できるとも考えています。以上の2点により、エコ通勤を推進するために、平日朝夕の電車とバスの運賃を安くし、本数を多くしてもらうことを提言します。よろしく申し上げます。

【市長】 はい、わかりました。松山の特長を言います。松山には路面電車が走っていますが、全国には1,700を超える市区町村がある中で路

路面電車が走っているまちは全国にわずか17しかないんです。つまり、100分の1の割合でしか路面電車はないんですね。路面電車だけではなく、伊予鉄道さんの高浜線・郡中線・横河原線の3路線あります。JRのことを昔は国鉄といいましたが、「昔は国鉄が走っていたけど、お客さんが少なくてなくなってしまってな」というまちもあります。バスの路線も充実していますし、このように公共交通がたくさんあるのが松山の特長です。松山市としては環境にも配慮したまちづくりをしたいので、この公共交通をできるだけ使ってほしいと我々も思っています。

【都市・交通計画課長】 松山の公共交通は、伊予鉄道さんとJRさんがほとんどだと思います。通勤や買い物をする市民の方の移動状況を整理すると、100人いたときに0.9人しかバスを使いません。電車が3人ほどです。ということは、使う人が少ないから料金を上げていく、サービスが落ちていくという負のスパイラルになっています。公共交通はみんなで支えていくものになっていますので、ぜひ皆さん公共交通を時々使っただいて、路線維持などに協力していただけたらと思います。高校を卒業されて運転免許を取られる方もいると思いますが、社会貢献の一環ということでそういう行動をしていただくことを強く望みます。次に、エコ通勤の視点ですけれども、環境にやさしいまちづくりとして県内で「愛媛県ノーマイカー通勤デー」というものを毎月1回設定していて、車から徒歩、自転車、公共交通への転換ということを実施しています。松山市役所でも第4金曜日を「ノーマイカー通勤デー」として設定していて、職員全体で過度な車利用からの脱却を推進しています。また、CO2削減にも公共交通や自転車利用は寄与しています。料金とサービスについては、今後、伊予鉄道さんやJRさんと話をしていきますが、今の人数ではなかなか難しいということですので、今後皆さん利用促進をお願いできたらと思います。

【市長】 もう1度、2つのデータを紹介してください。

【都市・交通計画課長】 バスの利用者は、100人市民の方が移動するうちの0.9人しか使わない、路面電車と郊外電車は100人のうち3人しか使っていないという状況です。

【市長】 100人いて0.9人しか移動でバスを使っていない。100人中電車が3人である。難しいですね。伊予鉄道さんという民間の会社が経営している電車・バスですから利用者が少ないとおのずとわかりますよね。ですので、せっかくの公共交通、環境にやさしい公共交通なので、皆さんにも利用いただきたいと思えます。

【女子生徒（4組）】 松山市では7年前から人口減少が始まっていると

のことで、そもそも松山市は県庁所在地であるにも関わらず、企業の本社が少ないように思います。就職先が限られているのですから、Uターンする学生が少ないのも当然かと思われれます。そこで、ある程度大きな企業の本社を誘致してはいかがでしょうか。また、どれほどよい企業を誘致したとしても、松山市の持っている特長を最大限に生かせなければ、状況はあまり変わらないと思います。松山市は、住みやすい自治体ランキングでは上位を占めていますが、空き家の多い自治体ランキングでは2位でもあります。空き家対策についてもお話いただければと思います。

【市長】 大きな企業を誘致してはどうかということですがけれども、働く場所にもなりますし、誘致した企業さんから税収が増えることにもなりますので、とてもいい提案だと思います。私が市長に就任させていただいたのは平成22年11月ですが、その前は南海放送のアナウンサーでしたから、自分たちの市をPRすることは得意なほうで、自ら宣伝マンとなり、IT企業やコールセンターなどの企業を誘致し、市内外の企業33社の新設や増設を支援して、約229億円の設備投資と550人の新規雇用を創出しています。松山市の特長として、ブロードバンドを積極的に整備しましたので、コールセンターやIT企業の誘致を推進しています。松山市のホームページに「いい、暮らし。まつやま」というページあります。「まつやまってどんなまち」というところで、例えば、「通勤・通学時間の短さが日本一」とか、「余暇時間が日本一多く取れている」とか、「住居にかかる費用が安い」とか、「暮らしに必要なお店や病院の近さが日本一」とか、「仕事の平均時間の長さが全国で2番目に短い」とか、これは働く時間が短いからといって決して怠け者というわけではなくて効率よくまじめに働くから、労働時間が短縮できていると考えられているんですけれども、こういう特長があります。ですから、これからも市長としてこのような特長を全国の企業さんにPRして1社でも多くの誘致につなげていきたいと思っています。また、空き家のことについてはどうでしょうか。

【地域経済課長】 企業さんが立地するにあたって、特に重要視していることは不動産と人材確保の面で、簡単にいうと場所と人です。松山市としてもそのような課題事項については積極的に協力させてもらっていますので、空き家の活用という意味で企業さんにも情報提供をしていきたいと考えています。

【市長】 空き家対策の難しさを私からお話しします。空き家は、個人の所有の物件です。基本的には個人さんの持ち物は個人さんで直してもらうのが基本になります。でも、壊れそうになっている家もあり、これを放置していたら通学路に倒れかかってくるものもあります。そうすると、皆さ

んの税金を使わせてもらって公が修理するとなると、「なんで他の人の家を直すの、じゃあうちの家も直してよ」というような話にもなるんですね。平等性・公平性を保たないといけないというところが、公の難しきで、そのようなことも考えながらしています。

【男子生徒（5組）】 松山市は現在、サクラメント市・フライブルク市・平澤市という3つの都市を姉妹都市・友好都市として訪問や交流を行っていますが、各国とのこれからの取り組みについて教えていただきたいです。まず、私たちの意見は「姉妹都市・友好都市サミット」を開催することです。今までさまざまな交流を行ってきたと思いますが、私たち学生としては、それらの都市との交流が多くないように感じています。そこで、このサミットを通じて、学生同士の交流が深められたらいいなと思います。各国との関係もありますので、松山市で開催したいと思っているのですが、今の状況ですと、飛行機を使って松山空港まで来て、そこから移動するということになります。そこで、もうひとつ提案がありますが、松山市内の移動手段として、自転車を利用させていただきたいと思います。また、市内に自転車がたくさん停められている問題があると思いますが、私たちの提案は、市内にいくつかのサイクルステーションを設置することです。これは、路上駐輪の削減や車での移動が減るので事故を削減することにもつながると思います。私たちの意見を少しでも視野に入れてくださり、松山市のグローバル化、安全なまちづくりができたらいいいなと思います。よろしくをお願いします。

【市長】 はい、わかりました。それでは、実際にどういう事業を外国としているか、そして、サイクルステーションのことを話してもらって、私が最後にサミットのことをお話します。姉妹都市と友好都市との交流でいうと、アメリカのカリフォルニア州の都のサクラメント市、環境先進都市として有名なドイツのフライブルク市、そして、韓国の平澤市、台湾の首都、台北市です。台湾の「台」に「北」と書きますが、270万人の都市です。その都市と52万人の都市の松山市が大変仲良くさせていただいていますけれども、こういうところに、中学生を派遣する事業を夏休みにしています。皆さんも、中学生のときを思い出してもらったら、友達で行っていた人がいるのではないかなと思います。また、松山市内の6つの小学校、中学校、高校が、サクラメント市の学校と姉妹校の提携を行って、インターネットを使って英語での会議をしたり相互訪問などをしたりしています。次に、サイクルステーションのことをお願いします。

【都市・交通計画課長】 サイクルステーションは、一般的にコミュニテ

イサイクルと呼ばれています。全国77都市で、すでに導入されています。これは、先ほどの公共交通の利用促進やまちなかの回遊性、例えば駅から自転車に乗って目的地に行くとか、公共交通の利用促進、自動車からの転換にも寄与します。現在、松山市では、観光レンタサイクルとあって、道後や松山城などに4ポートありますが、さらにそれを拡大した形のコミュニティサイクルについては、市民等ニーズがあるかどうかを調査していますので、今後その調査結果を見て、検討したいと思っています。

【市長】 学生さんによる「姉妹・友好都市サミット」ですが、これは、松山市が今までやったことのない取り組みで「いいな」と思いました。私の子どももかつて東高に通っていましたが、どれだけ勉強や運動が忙しいかも知っているつもりですが、よかったら東高の皆さんから「学生による姉妹・友好都市サミットでこういうことをしたい」ということを考えていただいて、松山市役所に意見を寄せていただいたら、どれぐらい費用が必要なのか、どれぐらい効果があるのかを見極めて実現できるところは実現したいと思っています。今までやっていないことをやるのはおもしろいじゃないですか。若い世代からのアイデアですから、できるだけやればなと思っています。松山市では、市長へのわがまちメールという市長に直接メールが届く制度もありますので、忙しいと思いますが、皆さんで考えていただいて、こんなことやったらどうかなというものを教えていただくと、実現につながりやすいかなと思います。いいアイデアをありがとうございました。

【男子生徒（6組）】 私たちの班は、「松山市の人口減少に歯止めをかけ、また、人口を増やすためにはどうすればいいのだろうか」ということを考えました。そして、結論からいうと「大学の学部増設」です。班員の多くが愛媛県にいたい、生活をしたい、それこそ、市長さんもおっしゃっていたように、土地も安ければ、通勤や通学も楽で、個人的にはパン屋も多いところがうれしいです。そのように、愛媛・松山で生活をしたいと思っている人が多い中で、大学進学や将来の夢を考えると愛媛・松山を出ざるを得ないという状況にあります。これらの解決のために学部を増やすことが有効だと考えました。県内での進路選択を視野に入れることができ、また県外からの学生を呼び込むことができますと思います。さらに、最近は大企業と企業が協力して研究・開発を行うことも多いので、新たな愛媛・松山ブランドの開発やそれに伴う雇用促進の面の一助にもなると思います。また、学生・社会人の集まる要因にもなるので、少子高齢化についても解決の糸口となると考えています。これらの面から私たちは大学の学部増設

を希望します。

【市長】 ありがとうございます。さすがにしっかりしていますね。実は、あまり知られていないですけども、やっているんですよということを申し上げたいと思います。私は、松山の高校を出て、県外の大学に行きました。結局、南海放送に就職しましたから、松山に帰ってきたわけですけども、やはり県外を体験して、松山のよさ、愛媛のよさがわかったので、県外に出たのもよかったかなと思っています。データをご紹介しますと、松山には、愛媛大学、松山大学、聖カタリナ大学、東雲女子大学の4つの大学があります。短期大学も3つあります。専門学校は約20あります。ここの人口が2万人といわれています。この2万人の学生がいるのといないのとでは大違いです。大学は研究機関でもありますから、この存在は大事です。実は、皆さんの中にも愛媛大学の社会共創学部への進学を考えている生徒さんもいるかもしれませんが、平成28年4月から愛媛大学に社会共創学部ができました。これは、平成26年3月に私から愛媛大学の学長さんに出している要望書ですが、「国立大学法人愛媛大学に地域に主眼を置いた新学部を早期に設置いただきますよう、次のとおり要望いたします」という要望書を出していますから、皆さんと思いは一緒です。今度、聖カタリナ大学さんに看護学科ができます。それに対して、松山市も補助金を出していますので、これも思いは一緒ではないかなと思います。東高さんは、県外の大学に出られることが多いのではないかなと思いますが、松山はいいところだと思いますので、何らかの形で、松山のまちづくりに参加してもらえればと思います。直接、間接とありますが、何らかの形で生まれ育った松山に関わっていただければと思います。

【女子生徒（7組）】 私たちの班では、「松山都会構想」についての意見を述べさせていただきたいと思います。1つ目に松山駅の改装・巨大化についてです。松山駅は四国で最も大きな都市である松山の中核であるにも関わらず、老朽化が進み、活気がないように思います。2つ目に交通網についてです。松山には公共交通網としてバスや郊外電車・特急列車しかありません。車の免許を返還した高齢者の人々や通学・通勤で公共交通網を利用している人々のために、バスや郊外電車・特急列車の便を増やしたり、地下鉄・新幹線を開通することで、松山市民だけでなく、観光客の人々の動きも活発になるかと思っています。ご検討よろしくお願いします。

【市長】 パワーポイントを見てもらいましょう。今治駅を知っている人、手を挙げてください。今治駅は2階建てですね。今治駅のほうが県庁所在地の駅みたいですね。松山駅もそうなりますよ。2階建てのほうは愛媛県

が担当して、松山市は周辺の土地区画整理事業とあって地面のほうを担当して、松山駅は平成32年度の完成を目指して工事を進めています。県都の陸の玄関口にふさわしい、魅力あるまちづくりをしたいと思っていますので、愛媛県と松山市とJR四国さんと協働して、できるだけ早くつくっていききたいと思っています。伊予市から通っている人もいますけれども、伊予市での車両基地整備を予定していますが、伊予市で遺跡が出た関係で、ちょっと遅れ気味になっているところはあると思いますが、できるだけ早くやっていききたいと思っています。きれいな松山駅になりますからね。もうちょっと待っていてください。「地下鉄・新幹線を開通させてほしい」について都市・交通計画課長をお願いします。

【都市・交通計画課長】 特急の本数を増加させることですが、予讃線は単線になっていて、駅で入れ違うようになっていっていますので、なかなか便数を増やすことが難しいとJRさんから伺っています。また地下鉄については、地下鉄が現在ある都市を思い浮かべてもらったら、大体100万人以上の都市だと思います。大体100万人以上が住むような都市の交通機関として地下鉄は成り立つ交通になっています。地下鉄だと上下移動があって高齢者の方も大変ですが、路面電車だと平面で乗れますから、そういう特性を生かしてまちづくりをやっていききたいと考えています。最後に新幹線については、関係する市町と一緒に野志市長が会長として国に、「新幹線を早くいれてほしい」という要望を毎年行っていますので、今後もそれを積極的にしていきたいと思っています。

【市長】 東高さんにちょっと投げかけて帰りますよ。大阪の地下鉄は、大阪市営地下鉄だったと思っています。公がものをつくると、「途中でやめた」、「調子が悪いからやめた」と言うことはできないという話を先ほどしました。公の難しさはここにあります。途中で調子が悪いからやめることはなかなか難しいです。例えば、我々世代が公でもものをつくったら、維持管理はどの世代が請け負っていくかということ、子どもや孫の世代になります。さっき医療費の話もしましたがけれども、何かつくるときにはよく考えないと将来の皆さんに負の遺産を残してしまう形になります。そういうことをしないために我々がどういう仕事をすべきかを考え毎日頑張っているところです。決まった財布の中で、今何をしなくちゃいけないかというところが難しいところです。

【男子生徒（8組）】 松山市の自転車の利用について述べさせていただきます。まず、松山市や愛媛県は自転車の利用を推奨していると思います。昨年9月から、市道山越中央線で自転車道の運用が始まりました。山越中

中央線のような高規格自転車道はほかに松山市では例がないと思います。松山東高校の前にも自転車道はあるのですが、最近自転車の事故が起きて、これではいけないと思い提案させていただきました。次にバス停の近くに駐輪場を設置してもらいたいと思います。先ほど公共交通機関の利用を増やしてはどうかという意見がありましたが、バスに乗るまでに結局徒歩で行くとなると車のほうが便利となってしまいますので、駐輪場をバス停の近くに設置することで公共交通機関の利用の増加にもつなげられると思います。以上2点、ご検討をお願いします。

【市長】 郊外にも駐輪場をという話だと思いますが、今、伊予鉄の郊外電車で東高に通っている人、手を挙げてください。例えば立花駅や余戸駅、久米駅、梅本駅が代表的な例ですが、バスや車で入って来やすいロータリーになっていて、駐輪場があって、そこに自転車を停めて、市内へは電車で入って行く、公共交通を生かしたまちづくりをしています。利用の多いところに駐輪場をつくって、費用対効果を見極めながら伊予鉄道さんと連携してやっていきたいと思っています。

【都市・交通計画課長】 バス停の駐輪場について補足をします。バス停の駐輪場は歩道が広くないと自転車を置けません。人が歩く幅は最低でも設けないといけないので、かなり大きな歩道が整備されているところでないとは整備はできないので、国道とか一部設置している事例もありますけども、国道の管理者などと今後話していきたいと思っています。それから、市道の山越中央線は自転車専用道をつくりました。今後順次、日赤前の通りとか、中の川通りを西に行って環状線にあたるところの一部の道路とか、フジグランの北側から総合公園方面に行く場所で自転車専用道の計画をしています。ところが、用地買収をしないと非常に難しい既存の道路のところがありますので、その場合は、（パワーポイントを見せて）このような方法で、ここは自転車が走る場所ですよというようなサインを入れたりして、安全な道路空間をつくっていきたいと考えています。

【女子生徒（9組）】 私たちは、若者の視点から松山市の交通面をよりよくするためにいくつか提案したいと思います。1つ目は、私立高校に通う生徒にもヘルメットの着用を義務付けすべきだということです。昨年起きた事故の中で、ヘルメットの着用によって命が救われた事例が多数ありました。これはヘルメットの効果を顕著にあらわしていると思います。2つ目は、街灯を増やしてほしいということです。松山市の中にはにぎわっている地域とそうでない地域に差があります。特に女子生徒は塾や部活の帰りに夜道が暗いと危険を感じる人が多いようです。また、道が明るけ

れば反射板を付けていない歩行者も見えやすくなります。これは交通事故件数の減少につながるのではないのでしょうか。以上が私たちの提案です。

【市長】 わかりました。ありがとうございます。時間的に余裕がなくて、フリートークがなかなかできなくて、申しわけなかったですけれども、なんとか9組さんまでいけました。皆さん、防犯灯は松山市内に何カ所ぐらいあると思いますか。こんなの考えたことないですよ。3万灯あります。管理は松山市役所がやっているんだろうなと思うかもしれませんが、3万灯を松山市役所で管理しようとする、球が切れたときになかなか追いつかなくなります。地元で管理してもらったほうがいいので、松山市は地元をお願いをして、もちろんお金も出して管理をしていただいています。昔、南海放送のアナウンサーとして野球の取材をしていたときに教えていただいたのですが、稲はあまり街灯に照らされると生育に影響が出るそうです。ですので、防犯灯はあまり田んぼの近くにつけてほしくないという方もいらっしゃる、家に近いところだと眩しくて寝られないというところもあるので、そういうところはつけにくいですが、言っていただければ町内会と連携してつけることができます。防犯灯をつけてほしいなという場所を教えていただいたら、地元の方と協議していきますので、遠慮なく言っていただけたらと思います。

【都市・交通計画課長】 私立高校のヘルメット着用ですが、来月の3月からもう2校、義務化で増えることとなります。あと3校だけ着用在進していませんが、残りの学校は着用の義務化が進んでいると愛媛県から返答がありました。

【市長】 私立高校にも広がっているということですね。今日は15時40分から16時30分までの50分間の授業の中で、9組さんすべてに発表してもらいたかったのですが、こういう形になりました。いつもは1時間半のタウンミーティングをやっているのですが、その形でもやってみたかっただすけれども、今日は学校の方にご協力いただいているので、こういう形になりました。皆さんも消化不良のところがあったかもしれませんが、お許しをいただけたらと思います。最後に、松山東高校さんは、愛媛で大変歴史のある学校です。私も子どもが在籍して、親ですから子どもの様子が見たいですけれども、結局来られたのは入学式と卒業式の2回だけでした。セレモニーのときに、松山中学の校旗と松山第一高校の校旗と松山東高校の校旗だったと思いますが、3つの校旗があつて、さすが伝統校だなと感じました。そんな松山東高校の皆さんにお願いですが、今日ちょっとでも行政や政治のことに興味を持っていただけたのではないかなと思います。何にも感じないのと、ちょっとでも感じるの大きなことだと思

います。みんなも高校1年生から高校2年生になりますけれども、よく聞かれる18歳選挙権のことがあります。誰に投票してくださいという話ではないんですよ。決して誤解しないでください。選挙の権利というのは、かつては財産をいっぱい持っていて、税金をいっぱい納めている人だけに認められた権利でした。そのあとは男性に与えられる権利になりました。女性も選挙に行ける、投票できる権利が得られたのは後の世になってからなんですね。選挙権は、日本の民主主義の中で獲得してきた歴史があるんですよ。ですから、皆さん選挙に行ける年になったら、ぜひともその権利は行使していただきたいと思います。私は南海放送のアナウンサーを20年していましたけれども、なぜこの仕事に入っていったかという、市民の皆さんと行政の距離が離れてしまうのはよくないことだ、市民の皆さんと政治の距離が離れてしまうのはよくないことだ、私だったらできることがあると思って、一歩踏み出しました。みんなが行政に対して無関心になってしまうのはよくないことです。すぐにできること、ちょっと時間がかかってできること、できないことは我々のほうからきちんと説明したいと思いますが、関心を持っていただくことは大事なことです。愛媛の中でも非常に歴史のある松山東高校さんは、各中学校でもリーダーだった皆さんが集まっている高校ですけれども、これからの松山や、これからの愛媛や、これからの日本や、これからの世界を背負って立つ皆さんです。皆さんが行政や政治に対して無関心になることは非常にもったいないことです。今日を1つの契機にとらえていただいて、関心も持っていただけたらと思います。時間になりました。本当に今日は短時間でしたけれども、色んなご意見をいただきまして、ありがとうございます。やれることからすぐにやっていきたいと思いますが、反映できることは反映して、皆さんの声を生かしていきたいと思いますが、今日は貴重な時間をいただきまして、先生方も本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。これからも皆さん、勉強を頑張ってください。運動も頑張ってください。以上です。ありがとうございます。

—了—